

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. バックオフィス	DX導入の成功事例から、自社へのDX推進に向けたポイントを知ろう！
新技術活用	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

コースのねらい	DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する。
---------	---

対象	(中堅・管理者層向け) ・話題のDXを知りたい方 ・従来の組織・企業文化を見直したい方
----	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1 DX概論	(1) DXとは ・DXとは何か？(DXの定義) ・DXの効果 ・従来のIT化との違い (2) 企業に求められる変革 ・第四次産業革命とSociety 5.0 ・従来とDXの方向性の違い(社会/産業、企業/組織等):演習 ・ダイナミック・ケイパビリティ(企業変革力) (3) DXを推進するためのデジタル技術の概要【演習あり】 ・DXに関連するデジタル技術(IoT、人工知能、通信、クラウドRPA、ノーコード開発他) ・DXに必要なスキル(テクニカルスキル、マネジメントスキル、ビジネススキル、パーソナルスキル)	1.5
	2 DX導入事例	(1) DXに成功した事例紹介 ・各業界におけるDX事例(製造、サービス、小売り、医療、金融など) ・DX成功事例のポイント ・中小企業でも可能なDX (2) DX事例の本質的理解【演習あり】 ・DX推進の実態 ・シェアリングエコノミー ・モノからサービス、所有から体験、感動へ ・ユーザー価値の共創 (3) DX推進の失敗事例 ・戦略なき技術起点 ・情報システム部門任せとベンダー企業に丸投げ ・DXに対する組織文化の欠如 ・DX推進の阻害要因	2.0
	3 DX戦略の導入	(1) DX推進のノウハウ ・DX時代の経営戦略・ビジョン ・DX時代の推進体制(推進部署、CDOなど) ・DX時代の人材育成(DXスキルマップ) ・企業文化の変革の必要性 (2) 業務プロセスの再設計【演習あり】 ・標準化の重要性 ・DX時代のITシステムの考え方 ・ビジネスモデルの変革の考え方 ・バリューチェーンの変革 ・DX推進の課題と対応の考え方(アジャイル、全体最適、コラボレーション、真の顧客視点) (3) DX推進指標の活用【演習あり】 ・DX推進指標による自己診断(自組織のDXの推進度のチェック):演習 ・DX推進指標による自己診断をもとにした今後の対応方法の検討	2.5
演習	・演習は個人検討を基本としますが、必要によりグループ演習を実施します。演習時間は上記の章毎の時間に含まれますが、計3時間を予定しています。		
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	DXの推進がなぜうまくいかないのか？を、その失敗事例を含めて要因を分析し、真のDXを推進するためのノウハウを説明いたします。特に、経済産業省が発行している「DX推進指標」をもとに、組織のDXの推進度をチェックし、不足している点が明確になるように構成されています。また、DX推進の経験豊富なコンサルタントが、経験談を元に、DXの本質が理解できていない方にもわかりやすく説明致します。
---------------	--

備考	
----	--